

[成果情報名] ワサビ種子繁殖性新品種「静系 19 号」

[要 約] 「静系 13 号」の自殖後代からの選抜系統を種子親に、静岡県育成品種「あまぎみどり」後代を花粉親に交配した「静系 19 号」は、地上部生育および主根茎の肥大に優れた品種である。

[キーワード] ワサビ、種子繁殖、新品種、交配

[担 当] 静岡農林技研・伊豆農業研究センター

[連絡先] 電話 0558-85-0047、電子メール agriizu@pref.shizuoka.lg.jp

[区 分] 関東東海北陸農業・野菜

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

ワサビでは、種子から増殖する種子繁殖苗が増殖性や生産コストで有利である。そこで均一性が高く、根茎肥大に優れた種子繁殖性品種を交配により育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 伊豆農業研究センターで育成した「静系 13 号」の自殖後代を種子親に、同じく当センターの育成品種「あまぎみどり」後代を花粉親として交配し得られた後代が「静系 19 号」である(図 1)。
- 2 「静系 19 号」は静岡県農林技術研究所が育成した種子繁殖性品種「伊づま」に比べ地上部生育が旺盛で、主根茎肥大性は同等に優れている(表 1、図 2)。
- 3 「伊づま」の主根茎のすりおろし品質は、「辛み」は「伊づま」と同等、「甘み」は「伊づま」と同等で「真妻」より強い(図 3)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 「静系 19 号」は種苗法による品種登録を出願予定で、栽培にあたっては静岡県との栽培許諾契約を締結する必要がある。
- 2 「静系 19 号」の採種には、種子親と花粉親を混植し、放花昆虫による受粉が必要である。
- 3 地上部の生育が旺盛なため、加工原料としての利用も期待できる。

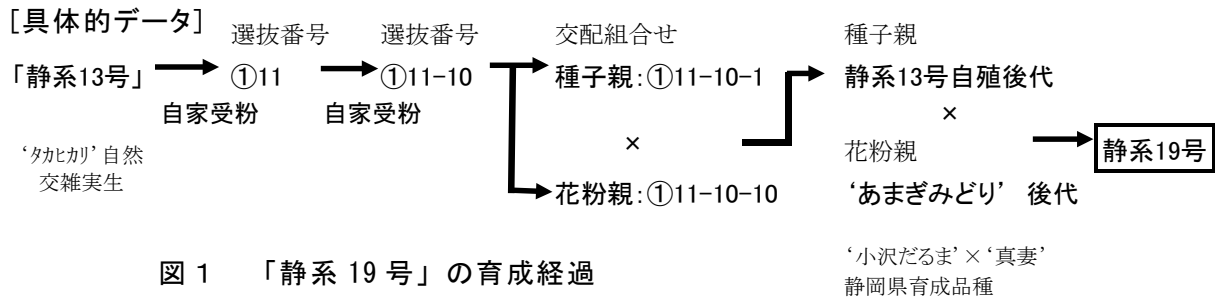


表1 「静系19号」の施設および露地における水ワサビ栽培期間12か月の生育

品種・系統名	栽培施設	草丈 (cm)	葉柄長 (cm)	葉長 (cm)	葉柄数 (本)	分根数 (本)	全重 (g)	根茎長 (mm)	根茎径 (mm)	根茎重 (g)
静系19号	施設	64.0	55.0 a	13.0	23.0	2.2	1243.0 a	110.0	28.1 ab	69.1 ab
	露地	62.2	53.4 a	12.5	21.2	2.4	1158.9 a	90.9	23.1 c	44.9 c
伊づま	施設	58.3	49.8 b	12.5	20.0	1.8	691.5 b	127.1	31.4 a	80.6 a
	露地	55.2	48.3 b	11.0	18.0	1.3	607.5 b	105.9	26.4 b	54.9 bc
有意性		n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	**	*

^z 同符号間にはTukeyの多重検定により5%水準で有意差のないことを示す

^y 分散分析によりn.s.は有意差なし、*は5%、**は1%で有意差あり



図2 「静系19号」の外観

[その他]

研究課題名：ワサビ種子繁殖性品種の育成と系統選抜

予算区分：県単

研究期間：2016～2020年度

研究担当者：馬場富二夫、久松 奨、片井祐介

発表論文等：

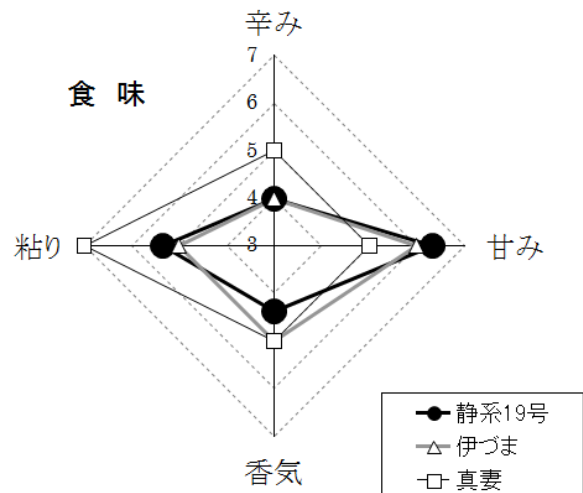


図3 「静系19号」の食味評価^z

^z 弱(3)～強(7)の5段階、調査者13名によるすりおろしの官能評価